


平成29年度 学校経営シート(報告) H30.3.1現在

校章		兵庫県立豊岡総合高等学校	全日制課程	進路	実績(H28) <small>上:工業、下:総合</small>	国公立 大学	0.0% 1.3%	私立 大学	5.3% 26.3%	短期 大学	2.6% 19.3%	専 門 学 校	19.7% 27.5%	就職等	72.4% 25.6%	
	創造性やチャレンジ精神を養い、夢や目標を持ち、自立して未来に挑戦する生徒の「生きる力」を育む。				特 徴	学習会、夏期・冬期補習、放課後補習、インターンシップ、面接指導等充実した進路指導										
基本情報	所在地	〒668-0023 兵庫県豊岡市加広町6-68	TEL 0796-22-7177 FAX 0796-22-7179	基 本 情 報	主な部活動	陸上部近畿大会出場、スキー部全国大会出場、書道部県総合文化祭優秀校受賞、近畿総合文化祭出場など										
	アクセス	JR山陰線豊岡駅徒歩15分			学校評価(H28)	PDCAシステムを確立し、中間評価を実効的な内容に改善した。自己評価及び学校関係者評価(保護者)は、昨年度に比べて0.14ポイント上昇。信頼される学校づくりが進んでいる。										
	学 科	工業科(環境建設工学科・電機応用工学科)・総合学科			入 学 者 選 抜 情 報	募 集 状 況	年 度	平成29年度								
	在 生 籍 数	環境建設工学科 119名(男子94名、女子25名) 電機応用工学科 115名(男子115名、女子0名) 総合学科 356名(男子126名、女子230名)				区 分	推 薦	学 力 検 査	合 計							
	教育課程の特徴	○特色科目の設置と豊かな選択科目群の設定 ○学力の定着・向上をめざした習熟度別指導及び少人数指導 ○系列科目の配置による進路に密接に接続した教育課程				環 境 建 設 工 学 科	20	40-推薦入学者			40					
	ホ ー ム ペ ー ジ	http://hyogo-c.ed.jp/~toyookasogo-hs/				電 機 応 用 工 学 科	20	40-推薦入学者			40					
	そ の 他 の 特 徴				綜 合 学 科	60	120-推薦入学者			120						
特色ある教育活動				○総合学科は2年次より4系列に分かれたカリキュラムを設定。生徒が自らの進路に適応した時間割を編成。○環境建設工学科は2年より建築類型と土木類型に分かれる。電機応用工学科は2年より電気と機械の専門教科を教科毎に選択する。												
主な学校行事				・ふれあい単身高齢者電気工事「あかり」・親子工作教室・ふれあいコンサート等各種ふるさと貢献活動・工業科移動展・学校発表会・地域ボランティア活動・読書タイムなど												
校 訓				「立志探究」 ～開こう可能性の扉を～ 制服 男女共ブレザー												

目指す学校像 生徒の自尊心を育てる中で、自立心を喚起し、21世紀を担う自主性と社会性を身に付けた地域社会のリーダーを育成する学校
教職員が育つ学校 ～一人一人の教職員が教育に携わる者としての誇りと意欲を持って職務に励む学校～

今年度の重点目標		今年度の主な取組		今年度の課題と次年度以降の取組	
目標Ⅰ	◎学校経営の透明化による組織力の向上 ① 新たな学校ビジョンの共通理解を図り、協働して取り組む。 ② 学校情報を定期的に学校関係者や保護者、地域住民などに発信する。	◎学校ビジョンを踏まえた期待される学校づくり ① 学校ビジョンを意識した取り組みを積極的に進める。 ② 新たな校内ランシステムを構築し、情報共有の推進に取り組む。 ③ 本年度の重点課題を機会ある毎にCPLし、関係者に周知する。 ④ HPを適時更新し、学校情報を積極的に公開する。	①:年度当初に学校経営に係るビジョンと各種取組との関連性を全教職員に説明することで共通理解のもと積極的な事業展開ができた。②:情報の共有に向けたシステムを構築したが、その運用について教職員の意識を高める必要がある。③:概ね実施できた。職員会議等で報告、課題も共有できた。④:緊急対応を含めHPの更新は随時行ったが、各科や部活動の更新が不十分という課題が残った。		
目標Ⅱ	◎教職員の資質能力の向上 ① 組織目標を達成するために必要な資質や実践的能力を向上させる。 ② 基礎的な知識・技術・技能を確実に定着させるための指導、支援の方法を工夫し、魅力的な授業を実践する。	◎授業力の向上とやる気の起こる職場環境づくり ① 研修会や各種研究会の内容を全教職員に報告・周知する。 ② 公開授業を定期的に行い、教員の授業参観を促す。 ③ 各教科で研究授業を年1回以上実施し、意見交換会を持つ。 ④ 生徒への授業アンケート、学校満足度調査を定着させる。	①:初任者研修の報告は学期毎実施できたが、部主任会等の報告はできていない。②:エントリー制度を取り入れ11月に1回実施。参観者は低迷。③:主に初任者の担当教科で実施。研究授業後の意見交換はアンケート形式で実施し、直接は主に指導教官が指導した。④:授業アンケート結果は公開せず担当教員の振り返りの材料とした。学習実態調査を実施・報告し、次年度の取り組みの参考とした。		
目標Ⅲ	◎基礎学力の定着と自立的に学ぶ姿勢の育成 ① わかりやすい授業に向けて授業内容・方法の改善を図ると共に、放課後や長期休業中の補習の時間を確保する。 ② 学習や諸活動の成果を発表させることで、自己有用感や達成感を感得させ、さらなる向上心を喚起する。	◎学習習慣の確立と自分の考えを伝える力の育成 ① 学習到達目標の達成に向けて授業内容・方法を検討し実践する。 ② 小テストや週末課題等により家庭学習を定着させる。 ③ 豊岡市小中一貫教育を引き継ぐ中高連携教育を推進する。 ④ 生徒がHRや各種集会の場で発表する機会を増やす。	①:常に実践目標を意識することが課題である。新学習指導要領を見据えた授業改善がなされつつある。②:課題や小テストを逐次実施し、家庭学習の充実を図ったがまだ十分な成果は現れていない。③:連携教育の3本の柱を意識した新たな取組を実践することで、これからの事業発展の礎を築くことができた。④:発表の機会はまだ十分とは言えないが、生徒の意識は高まりつつある。自分の考えをしっかりと伝える力の育成が肝要である。		

数値目標	今年度の数値目標の内容	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
目標①	・進路変更者数(退学者を含む)を在籍者数の1%以内とする。	<1	1.42	<1	0.9	<1	0.6	<1	1.5		
目標②	・就職1次内定率を90%以上とする。			>90	91.7	>90	91.7	>90	0.95		
目標③	・点数化(4点満点)した学校評価(内部評価)の平均を3.0以上とする。	>3.0	2.72	>3.0	3.14	>3.0	3.28	>3.0	3.36		